

野 観光・体験・お食事

★印の体験には、別途入場料が必要です。
★印の体験には、事前予約が必要です。



野掛け(竹林散策)

● 昼の竹林散策

入場料金 おとな 750円 小中学生 500円 3-5歳 250円

※2歳以下は無料
※入場は1日有効、再入場可能です。
※竹林散策ガイドをおつけできます。
1グループ50名までとして5000円 所要時間約40分(要予約)

● お抹茶セット割引 入場料+竹器でお抹茶のセット

おとな 1200円 小中学生 1000円 3-5歳 800円

※お抹茶は土日祝日のみのご提供となります。

● 夜の竹林散策《上記入場料とライトアップ代がかかります》

ライトアップ代 おとな 750円 小中学生 500円 3-5歳 250円

※夜間ライトアップは土日祝日のみの開催となります。
※点灯は日没からとなり、終了時刻は季節により変動します。

● 夜のお抹茶セット割引 入場料+ライトアップ+竹器でお抹茶のセット

おとな 1800円 小中学生 1400円 3-5歳 1000円

※お抹茶は土日祝日のみのご提供となります。

● 野良仕事(収穫体験)

★ ● 筍狩り(4~5月)...掘った分を後精算1kg当たり 1000円

★ ● ブルーベリー摘み(7~8月)...1バック(200g)と試食付き 500円

★ ● 栗拾い体験(9~10月)...1家族1箱(約1kg)限定 1500円

※道具、入れ物などご用意しています。軍手は有料です。
※多少汚れても良い格好でお越し下さい。
※体験時期等、その年によって異なるため、必ず事前にお問い合わせください。

● 野遊び(各種体験)

★ ● 竹林でハンモック...竹林でのんびりハンモック 1時間 500円

● 竹工作...弓矢、水鉄砲など 500円~

★ ● 着物で竹林散策

※内容、ご予算などご相談ください。
※プロのカメラマンもご予約いただけます。

● 野点(お食事)

★ ● 竹器でお抹茶...竹器お持ち帰り、お茶請け付き 750円

● 季節の味覚...焼き筍・焼き栗等 500円~

★ ● 竹林でお食事...お弁当、竹林内での食事会など

※内容、ご予算など事前にご相談ください。

● 野宿(ご宿泊)

農場内のサイト(ハンモック専用)にてお泊まり

※テントや備品のレンタルもご用意します。

詳細はHPをご確認ください。

● 竹のミュージアム・ギャラリー

竹とはどんな植物なのか、また、暮らしの中や現代文化における竹についてご覧いただけます。

● カフェ・レストラン(2023年春オープン予定)



※上記全て消費税を含みます。料金につきましては予告なく変更になる場合があります。
※天候等により、内容・営業期間が変更になることもございます。必ず事前にご確認ください。
※旅行会社様ご手配による団体旅行に割引がございます。お気軽にお問い合わせください。

農 自然循環型栽培による農産物と加工品

取れたて農産物(筍・栗・ブルーベリー)と加工品を販売しています。

竹 竹材・植栽用竹苗の販売

都心の風景や庭を彩る竹の植栽など

他 撮影・イベント等ロケーションの貸出

昼・夜ともに様々なシーンにご利用いただけます。

筍のための土づくりをつづけて100余年
見上げると見わたすかぎりの竹林があった
その竹はどれもがみな美しい若竹色であり
その広がりとはもう竹の林ではなく杜である

若竹の杜

Four Seasons Bamboo Forest

若山農場

WAKAYAMA FARM Inc.

若竹の杜 若山農場

株式会社ワカヤマファーム

〒320-0075 栃木県宇都宮市宝木本町2018

Tel. 028-665-1417 Fax. 028-665-4428

<https://www.wakayamafarm.com>

Email

contact.wakayamafarm@gmail.com

■ 営業時間

平日...9:00~17:00

土日祝...9:00~20:00

※夏(6.7.8月)は9:00~21:00

■ お車でお越しの方

東北自動車道/日光道 宇都宮IC下車

宇都宮市街方面へ約10分

都心からおよそ1時間30分

■ 公共交通機関でお越しの方

JR宇都宮駅より約9km

関東バス52/56/58系統

「野沢寺前」下車(約30分)+徒歩700m(約10分)

タクシー利用で約20分



2022年11月現在

UTSUNOMIYA | TOCHIGI | JAPAN

若竹の杜 若山農場の歴史

江戸初期寛文10年の宝木台地新田開発事業に伴い不毛の地であったこの地に入植し以来十数代に渡り嘗々として耕し続け其の礎を築き今日の大をなす。 — 若山家墓誌より

若山家は、江戸初期寛文10年(1670年)に不毛の地であったこの地に移住し、24ヘクタールの圃場を代々開拓し続け今日に至ります。しかし、当時この地には水がなく日本人の主食である米を作る事が出来なかったため大変苦勞をしたと聞いています。そのような環境の中で他作物の栽培に積極的に取り組み工夫することを惜しみませんでした。



今日の礎となる竹・栗の栽培に至るのは2代前の当主である善三によります。善三は農業家としては当時珍しく旧制大学校へと進学し、近代農業について学びます。戦後それを実践し竹と栗の栽培を全国に広めていきます。戦後それを実践し竹と栗の栽培を全国に広めていきます。春の筍、秋の栗、冬には竹を切りそれがすべて利用された時代でした。特に近代的な栗栽培の第一人者として全国に名をはせました。

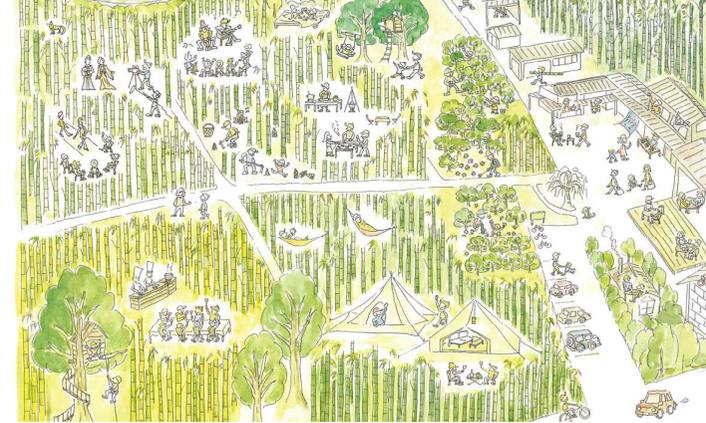
先代当主である幸央は、竹に着目します。竹材の新利用のため特殊加工技術を開発し生産しますが、石油製品(プラスチックなど)の台頭により竹そのものの需要が激減してしまいます。一方、筍利用については順調で東京築地市場において一定の地位を確立し、また、その傍らで竹の開花に着目し竹の品種改良へと生涯取り組み続けていきました。

当代当主である太郎は、竹植栽へと着目します。日本の伝統文化を代表する竹林の風景をあえて近代的な都市空間の中へと推し進めます。これは近代建築空間の中に竹が映えることと、先代の品種改良により作り上げた小さな竹“ヒメアケボノモウソウチク”が狭い都市空間の中に合うからであり、今では多くの都市空間に竹の植栽が行なわれるようになりました。

昔は身近に竹を利用し手入れのされた竹林の多かった日本においても、時代の流れとともに竹の需要は少なくなり、そんな竹林の風景は希少となりました。しかし、当圃ではそれを時代に合わせた工夫をし続け現存しています。そして、その風景を観光資源として解放し今日に至ります。

これから皆さんにご覧頂く見渡す限りに手入れのされた美しい竹林は、こうした歴史の積み重ねと日々のたゆまぬ努力の成果なのです。どうぞゆっくりとご覧ください。また、これからも進化し続ける若山農場をどうぞ楽しみにしてください。

夢みる竹林



散策MAP



ケヤキの大木
ニレ科ケヤキ属の落葉高木。帯を逆さにしたような樹形が美しく秋の紅葉が美しい。



亀甲竹 (きっこうちく)
孟宗竹の一種。節が交互に膨れて亀甲状の特異な形状を持つ。ドラマ“水戸黄門”で水戸光圀が持っている杖としても有名。



孟宗竹 (もうそうちく)
日本の竹類の中では最大で高さ20mを超す。葉が小さく色が薄いため抜ける緑陰が美しい。先端が垂れるため、道の両側にあるとまるでトンネルのようになる。



真竹 (まだけ)
縄文時代の土器からも利用が見られる、日本古来より自生していたまさに真の竹。細く裂け弾力性に富み曲げやすいことから竹細工、竹工芸などに利用されてきた。パンダのエサやエジソンの白熱電球の材料になったことでも知られる。



散策基本ルート

- 昼間 (Blue dashed line)
 - 夜間 (Red dashed line)
- ルートに沿ってご自由にお過ごください
竹灯ろうに沿ってお進みください

ビューポイント

ライトアップポイント



隈笹 (くまざさ)
笹類は竹の一種であり、筍の皮の残るものをいう。冬になると葉の縁に白い隈取りができることが名の由来である。



金明孟宗竹 (きんめいもうそうちく)
孟宗竹の一種。桿は黄金色で緑色の縦縞が市松に入る。国の天然記念物に指定された場所もある貴重な品種。



西弁天沼
宇都宮市内を流れる釜川の源泉。日光中禅寺湖の水が伏流水となり地形が変わるこの地で湧き出している。



榎の木
ブナ科コナラ属の常緑高木。高さのわりに太くならないのが特徴で秋にはドングリが実る。



宝木堀
二宮金次郎(尊徳)指導の下、地元有志により掘られた用水路。当時から変わらず護岸のされていない素掘りの貴重な場所。